

山元議委発第42号
令和5年6月8日

山元町議会議長 岩佐哲也 殿

総務民生常任委員会
委員長 竹内和彦

優良市町村視察研修報告書

本委員会は優良市町村視察研修を行ったので、その結果を下記のとおり報告します。

記

- 1 研修月日 令和5年5月11日(木)
- 2 研修地と研修項目
 - (1) 宮城県川崎町 公共交通事業(町民バス、タクシーチケット)について
 - (2) 宮城県利府町 地域おこし協力隊の活用について
- 3 研修概要とまとめ
 - (1) 宮城県川崎町 人口：8,210人(令和5年3月31日現在)
 - ① 公共交通事業(町民バス、タクシーチケット)について
 - ア 町民バスは、公共交通機関の確保と福祉向上を目的に、平成13年度から4台で運行を開始し、既存路線バスとの重複を避けた町内循環ルートが主流で、町外へのアクセスはしていない。
 - イ 運行日は月曜日から金曜日(土、日、祝日、及び年末年始は運休)であり、乗車料金は一律100円である。
また、障がい者、70歳以上の運転免許自主返納者及び高校生以下は無料となっている。
 - ウ 運行(路線や運行時刻)は、町民バス運営審議会及びバス利用者ニーズ等を踏まえ、適宜、見直しを行っている。
 - エ タクシー利用助成事業は、通院や買い物など、日常生活を営むことが困難な在宅高齢者等に対し、タクシーを利用する際の料金の一部を助成することで、自立した生活を営むことを目的とし、対象者への助成券交付事業を平成26年4月1日から実施している。(通常24枚、特定7地区36枚)

なお、町民懇談会等において、助成額の増額について要望があり、令和5年度からは、助成券1枚あたりの金額を400円から600円に増額しており、財源については過疎債を充当している。

まとめ

行政区長、教育委員等の意見・要望に耳を傾け、現状を把握し改善に取り組んでいる。当町においても、町民の要望を真摯に受け止め取り組むべきである。

(2) 宮城県利府町 人口:35,869人(令和5年3月31日現在)

① 地域おこし協力隊事業の取り組みについて

梨農家の高齢化や担い手不足によって、梨農家及び生産量が減少(昭和40年:農家355戸、栽培面積54haから令和4年:59戸、19.4ha)し、町特産品である利府梨の産地維持を図るため、地域おこし協力隊を活用して次世代の新たな担い手や新規就農者となる人材を育成し、生産の安定を図るため取り組んでいる。

まとめ

隊員を確保するためには、事業内容、住居だけでなく、任期終了後も町内に定住できるような、総合的支援が必要である。